（参考資料４）
（別添２）

卵子凍結による妊孕性温存等に係る課題検証のためのモデル事業
指定医療機関が登録する臨床情報等の項目

＜施設基本情報＞

施設名称
日本産科婦人科学会 ART 施設登録 ID
登録者情報（氏名、電話番号、メールアドレス）
最終提出日

＜卵子凍結時の報告＞

・対象者認定番号
・卵子凍結実施日
・卵巣に対する手術既往の有無・詳細
・適応（1~6 より選択）
  1. 良性卵巣腫瘍に対する卵巣手術が医学的に必要と判断され、手術を予定している
  2. 遺伝性疾患により卵巣予備能の低下が認められる、または将来的に早期に低下することが予想される
  3. 自己免疫疾患により卵巣予備能の低下が認められる、または将来的に早期に低下することが予想される
  4. 過去に受けた医療行為により卵巣予備能の低下が認められる
  5. 特発性の早発卵巣不全または特発性の卵巣予備能低下が認められる
  6. 上記 1～5 には該当しないが、前各号の対象者と比較可能な年齢層等の一定条件を満たす者
・適応 1. を選択した場合：卵巣腫瘍の種類（内膜症性嚢胞、境界悪性腫瘍、その他良性腫瘍より選択)、卵巣腫瘍の両側性の有無（片側、両側より選択)、右卵巣腫瘍の大きさ（最大径 [cm], 小数点第一位まで)、予定している右卵巣腫瘍手術の内容（付属器切除、腫瘍摘出、焼灼・蒸散、吸引のみ、手術対象外より選択)、左卵巣腫瘍の大きさ（最大径 [cm], 小数点第一位まで)、予定している左卵巣腫瘍手術の内容（付属器切除、腫瘍摘出、焼灼・蒸散、吸引のみ、手術対象外より選択）
・適応 2.～5.を選択した場合：具体的な適応・疾患について（自由記載）
・AMH 測定日
・AMH 値（小数点第二位まで）
・AMH 測定キットまたは外注先(アクセス（ベックマン・コールター)、エクルーシス（ロシュ)、ルミパルス（富士レビオ)、バイダス（ビオメリュー)、SRL（検査受託会社)、BML（検査受託会社)、LSI メディエンス（検査受託会社)、保健科学研究（検査受託会社)、日本医学臨床検査研究所（検査受託会社)、その他、不明より選択）
・周期管理に用いた薬剤（内服薬による排卵誘発）（なし、クロミフェンクエン酸塩、レトロゾール、シクロフェニル、その他より選択。2 種類まで回答可能）
・周期管理に用いた薬剤_その 1（LH サージ抑制に用いた薬剤）（なし、GnRH アゴニスト、GnRH アンタゴニスト、黄体ホルモン、その他より選択。2 種類まで回答可能）
・使用したゴナドトロピン製剤の種類（HMG 製剤、ホリトロピンアルファ、ホリトロピンベータ、ホリトロピンデルタ、その他より選択）

・刺激開始からトリガーまでの日数
・刺激に要したゴナドトロピン製剤総投与量
・トリガーのための製剤の種類・投与量（尿由来 hCG、遺伝子組み換え hCG、GnRH アゴニストより選択。2 種類まで回答可能）
・採卵数、成熟卵数、未熟卵数
・IVM 実施の有無
・実施した IVM の適応（未成熟卵子回収目的の採卵(PCOS-IVM)、卵巣刺激後に結果的に回収された未成熟卵子の IVM(rescue-IVM)より選択）
・IVM に使用した培養液（IVM 専用培養液（CAPA-IVM 除く）、一般培養液、CAPA-IVM より選択）
・IVM を実施した卵子数
・IVM 後成熟卵子数
・凍結卵子数
・日本産科婦人科学会の症例登録番号または一括登録識別番号

＜年次調査時の報告＞
・対象者認定番号
・AMH 測定日
・AMH 値（小数点第二位まで）
・AMH 測定キットまたは外注先(アクセス（ベックマン・コールター)、エクルーシス（ロシュ)、ルミパルス（富士レビオ)、バイダス（ビオメリュー)、SRL（検査受託会社)、BML（検査受託会社)、LSI メディエンス（検査受託会社)、保健科学研究（検査受託会社)、日本医学臨床検査研究所（検査受託会社)、その他、不明より選択）
・凍結卵子保存継続更新日
・凍結卵の保管継続の有無
・凍結卵を廃棄した場合の理由（自然妊娠したから、不妊治療（人工授精まで）で妊娠したから、不妊治療（ART）で妊娠したから、経済的負担のため、その他（自由記載）より選択）
・この 1 年間で使用した卵子数、胚数
・残存凍結卵子数、残存凍結胚数

＜凍結卵子使用時の報告＞
・対象者認定番号
・卵子・胚融解実施日
・今回実施した一連の治療の種類（凍結卵子を用いた治療、以前に凍結した胚を用いた治療より選択）
・融解卵子・胚数
・受精方法（体外受精、顕微授精、体外受精＋顕微授精より選択。胚の場合は以前の受精方法を選択）
・受精胚数（胚を融解した場合は 0）
・胚移植の有無
・子宮内膜調整方法（自然排卵周期（modified natural 含む)、ホルモン調整周期、排卵誘発周期より選択）

（別添２）

・移植胚数
・胚移植を実施しなかった理由（移植に適した胚が得られなかった、内膜が移植不適だった、本人の体調不良、患者希望、その他より選択）
・胚凍結の有無
・胚凍結ありの場合、凍結胚数、胚凍結時の発育段階（初期胚、胚盤胞、初期胚＋胚盤胞、その他より選択）
・胚移植した場合の妊娠の有無
・残存凍結卵子数、残存凍結胚数
・日本産科婦人科学会の症例登録番号または一括登録識別番号